第7回癌治療増感研究シンポジウム

癌化学療法の新たな治療戦略

―癌治療薬による新規併用療法の開発を目指して―

会　期：平成17年2月11日(金・祝) 13：00～12日(土) 15：00
開催地：奈良市ならまちセンター

（〒630-8362奈良県奈良市東寺林町38 Tel: 0742-27-1151）

世話人：吉川 敏一（京都府医大）
大会長：大西 武雄（奈良医大）
〒634-8521奈良県橿原市四条町840
奈良県立医科大学生物学教室
Tel: 0744-29-8812 Fax: 0744-25-3345
E-mail: seibutsu@naramed-u.ac.jp

平成17年2月11日(金・祝)

シンポジウム1　癌化学療法の新たな治療戦略　座長：西村 恭昌（近畿大）
- メトロノミック化学療法　鬼塚 伸也（国立長崎医療センター）
- 抗癌剤と血管新生阻害剤の併用効果　大谷 吉秀（慶応大）
- 進行肝細胞癌に対するIFNα併用化学療法　永野 浩昭（大阪大）

シンポジウム2　癌化学療法と放射線療法　座長：平岡 真寛（京都大）
- フルツロンと放射線の併用療法　小口 正彦（癌研附属病院）

シンポジウム3　癌化学療法と温熱療法　座長：上田 公介（名古屋前立腺センター）
- RF誘電加温装置による直腸癌術前照射温熱化学療法　浅尾 高行（群馬大）

平成17年2月12日(土)

シンポジウム4　癌化学療法の新規癌治療薬の開発　座長：堀　均（徳島大）
- 新規癌治療薬の開発　西本 清一（京都大）

シンポジウム5　癌化学療法の治療効果予測　座長：近藤　隆（富山医薬大）
- 分子情報に基づく癌化学療法の治療効果予測　檜山 桂子（広島大原医研）
- ゲノム解析からの増感予測　播磨 洋子（関西医大）

特別講演　座長：吉川 敏一（京都府医大）
- Tumor dormancy therapy に基づく
  Tailored dose化学療法　高橋　豊（金沢大）

ランチョンセミナー　座長：松本 英樹（福井大）
- 遺伝子発現阻害による癌治療戦略　樋口 裕高（フナコシ㈱）

総合討論　癌治療増感研究の将来展望　座長：吉川 敏一（京都府医大）

各セッションに一般演題の公募（12/20締切り）があります。多数の参加発表を歓迎いたします。詳細はホームページ（http://www.iasct.jp）を御参照ください。